

■ 楠隼中学校・高校だより

全国から生徒たちが集う全寮制中高一貫教育校



中学校 再認識 換気の大切さ

1月19日、学校薬剤師の川添先生が来校し、教室内の空気中の二酸化炭素濃度を測定しました。この日は温かく暖房をつけずに授業をしています。したが、窓を閉め切った部屋では少しづつ二酸化炭素濃度が上がるといいう結果が出ました。

授業終了時に川添先生が検査の結果を説明、あわせて感染症が流行するこの時期は特に「休み時間

間に窓を開けて換気をする



切さについて再認識した様子でした。

その後、調査結果を受けて、1月31日の中学朝礼で生徒会保健委員会から換気についての発表がありました。具体的な数字を紹介しながら、二酸化炭素濃度の増減をグラフで解りやすく説明し、生徒も真剣に聞いていました。それ以降は休み時間になると窓を開け、換気をする生徒の姿が見られました。



高校 肝付町「車座ふるさとトーク」に参加



車座ふるさとトークに高校2年生の吉田健人君が参加しました。これは、安倍内閣の事業として、全国各地に大臣・副大臣・



テーマを決めて、現場の方々と少人数で車座の対話を行い、生の声を聞いて政策に生かすとともに、重要政策について説明するという目的で行われています。県内では鹿児島市、薩摩川内市に続いて3回目の開催で、今回のテーマは「宇宙科学・探査が果たす役割」について。水落文部科学副大臣と町内に住む10代〜50代

の男女10名が、峯杉JA X A内之浦宇宙空間観測所長の進行でトークを繰り広げました。日本の宇宙科学・探査活動については、小惑星探査「はやぶさ」など世界最高水準の成果が生まれており、今後とも世界をリードしていくことが期待されています。これらの活動・成果を、肝付町をはじめとする地域創生につなげていくためにはどうすればよいかなどについて意見が交わされ、吉田君も「国産だけでなく、世界中のロケットを内之浦で打ち上げるように誘致できないか」などの方策を述べていました。

公式ブログ：

<http://kagoshima-tyuukou.seesaa.net/>